

# 田上町の歴史 — “田上町” 誕生まで —

田上町は令和5年8月1日に町制施行50周年を迎えます。そこで、今号より町の歴史や、今の町をお伝えする特集記事を掲載予定です。第1回目は田上町になるまでの歴史をご紹介します。(資料：田上町史より引用)

今から425年前の1598年頃、田上地域で存在した村は、田上、羽生田、湯川、川船河、坂田の5か村でした。その後、水利技術や農業技術の発達により荒れ地が開発され、村名に“〇〇新田”と入る村が開村していきました。

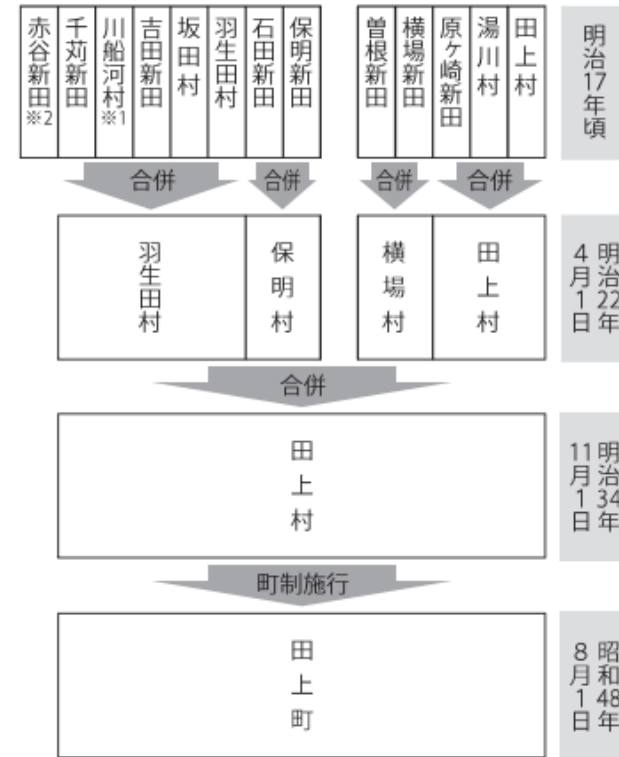
明治時代に入ると、明治21年に交付された市制・町村制により、大規模な合併が進みます。明治22年4月には田上、横場、保明、羽生田の4村になり、明治34年11月には、その4村が合併して現在の田上町の前身の田上村になりました。

そして、昭和48年3月15日、田上の人口1万人突破が判明し、昭和48年8月1日に町制を施行、田上町となりました。

明治22年	明治34年	明治42年	大正9年	昭和9年	昭和22年	昭和25年	昭和26年	昭和38年	昭和44年	昭和48年	昭和48年	
4月	11月	2月		9月	5月	7月	2月	4月	12月	3月	7月	8月
田上、羽生田、横場、保明の4か村が発足	田上村が発足	田上最初の電話が羽生田駐在所で開通	田上最初の電灯が羽生田地区に灯る	田上村観光協会の発会	田上中学校 開校	田上村役場焼失	田上村役場庁舎 竣工	田上初の田上保育所開設	田上村広報誌「きずな」第1号発行	常住人口調査により、田上の人口1万人突破	町民体育館が竣工	田上町誕生(田上町制施行)

— 田上町誕生までの年表 —

## — 田上町施行までの合併の歴史 —



※1 明治19年、太右衛門新田・茗荷谷新田を合併 ※2 明治19年、上条村に合併



大正10年建設の田上村役場